

十六銀行と東濃信用金庫
が制作した土岐市のPR
動画を紹介する関係者ら
＝同市役所

十六銀と東濃信金、地域創生連携事業



SNS向け 第1弾、地場産業編を投稿

両金融機関は2016年に地方創生にかかる包括連携協力に関する協定を結んでおり、協働で地域活性化事業に取り組んでいる。今回は、土岐市のにぎわい創出につなげようとSNS用動画などを制作することにした。

観光や地場産業、グルメにまつわるスポットや団体、窯元、飲食店など28カ所をピックアップ。撮影は同金庫職員が担い、動画には同行、同金庫の職員も登場し、土岐市の魅力をPRしている。総まとめの約4分50秒のメイン動画と3編のショート動画が完成した。

動画を視聴した加藤市長は「金融機関が力を合わせて土岐市の魅力を発信してくれることはありがたい。これからも一緒に盛り上げていきたい」と感謝した。同行土岐支店の早川崇弘支店長は「市外だけでなく、市民の皆さんにとっても魅力の再発見となれば」とし、同金庫泉支店の安江正式支店長は「金融機関の垣根を越えた活動が良い形となった。営業先でも動画をPRしていく」と話した。

総まとめのメイン動画は24日からYouTubeで視聴できる。今後は、グルメ編を5月1日、観光情報編を同4日に市と同金庫の公式Instagramに投稿する。同行の全営業店舗のデジタルサイネージでも今後、制作された動画が公開される予定。

土岐市のPR動画制作

十六銀行（岐阜市）と東濃信用金庫（多治見市）は地方創生連携事業として、土岐市の魅力をPRする交流サイト（SNS）用動画を制作し、24日に市役所で加藤淳司市長らが視聴した。動画は「地場産業」「グルメ」「観光情報」の3編からなり、第1弾としてこの日、地場産業編の動画が土岐市と同金庫の公式Instagramに投稿された。

（小森孝美）